

公益社団法人 日本建築積算協会 創立50周年記念ロゴマークが決定しました！

ご応募いただきました77作品より、審査の結果
以下の作品に最優秀賞、優秀賞が決まりました。
2024年5月28日定時総会で表彰式を行いました。

最優秀賞作品



作品の説明・コメント

メインテーマである創立 50 周年の「50」の文字に BSI の「J」と建築物(ビル)のシルエットを使い、アクセントを持たせたデザインです。5 と 0 を少しずらすことで、デザインに変化を与えそれを支えるように赤く大きく伸びた「J」の文字と重なる建築物は力強さと安定感を観る人に印象付けます。また、「J」はビルの前に開いた扉のようにも見えます。50 年積み重ねた歴史の重みはもちろんのこと未来へと向かう扉に将来に活躍する新しい力も感じさせます。創立 50 周年の記念ロゴなのでお祝いのレッドカーペットも設えました。

作者紹介 星野敏文

1967 年生まれ。デザイナー。イラストレーター。デザイン会社 2 社を経て、1995 年独立。グラフィックデザインとイラストを中心に企業のパンフレットやパッケージデザイン、SP ツール等の印刷物の制作を行う。

優秀賞2作品



BSIJ 50years
～未来に向けて～

作品の説明・コメント

建築物を設計しその後造り上げるイメージから、ベースの造形を立方体(正六角形)にしました。下部には50の文字、上部にはこれから設計し建築される街をイメージしてデザインをしました。建築物の創造を影で支えているのは、建築積算であるというコンセプトです。

作者紹介 工藤規雄

東京生まれ。有限会社グリフ 代表取締役/アートディレクター、グラフィックデザイナー。JAGDA(日本グラフィックデザイン協会)会員、TDC(東京タイポディレクターズクラブ)会員



作品の説明・コメント

私の父が、積算の仕事に携わっていることから、今回の募集を知り、応募しました。ロゴマークを制作する上で、初めて積算という仕事について調べた事により、「数学と建築」というイメージを持ちました。そこで私は、黄金比によって建築された、唐招提寺金堂をヒントに制作しました。日本建築積算協会で現在使用されている、ロゴマークのカラーリングを踏襲しつつ、屋根部分をリボンの形にした事により、50周年へのお祝いの気持ちを表現しました。また、文字を建物の基礎の部分に配置した事により、普段の建物には映らない、積算という重要な工程が土台として存在しているイメージを形にしました。

作者紹介 只野 雅人

東京工芸大学芸術学部デザイン学科4年次在学中。

皆様、多数のご応募をいただきまして有難うございました！